

安足地域麦類技術情報 No.3

令和5(2023)年1月23日
安足農業振興事務所

- 雑草防除をしましょう
- 麦踏みは10日～2週間おきに行いましょう
- 排水対策を行いましょう

1 気象経過と生育概況

12月は、平年に比べて気温は平年並み、降水量は少なく、日照時間は平年並みに推移しました。

適期に播種できたほ場では、播種後に大雨が無く気象が安定していたため、生育は順調です。

表 2022年12月1日～31日の気象（観測地点：佐野市）

	今年	平年値	平年差・比
平均気温(°C)	5.6	5.4	0.2
降水量(mm)	26.0	31.3	83%
日照時間(h)	197.6	200.1	99%



写真 麦の生育の様子(1月17日撮影)
播種日：11月18日
品種：ニューサチホゴールデン

2 今後の気象

気象庁の1か月予報(1月19日発表)によると、向こう1か月の気温は低い確率60%、降水量は多い確率40%という予報が出されています。

気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)			
気温	関東甲信地方	向こう1か月 01/21～02/20	60 (低い) 30 (平年並) 10 (高い)
		1週目 01/21～01/27	80 (低い) 10 (平年並) 10 (高い)
		2週目 01/28～02/03	60 (低い) 30 (平年並) 10 (高い)
		3～4週目 02/04～02/17	40 (低い) 30 (平年並) 30 (高い)
降水量	関東甲信地方	向こう1か月 01/21～02/20	30 (低い) 30 (平年並) 40 (高い)
日照時間	関東甲信地方	向こう1か月 01/21～02/20	30 (低い) 40 (平年並) 30 (高い)

■ 低い(少ない) ■ 平年並 ■ 高い(多い)

3 今後の栽培管理

(1) 雑草防除をしましょう

雑草の発生を確認したら、除草剤の処理時期を逸しないように早めに対処しましょう。

発生している雑草	除草剤名
スズメノテッポウ、一年生広葉雑草	ハーモニー75DF 水和剤
ヤエムグラ、一年生広葉雑草	エコパートフロアブル
一年生雑草	バサグラン液剤

※除草剤(農薬)を使用する時は、ラベルの表示をよく確認し、基準を守って使用してください。

※麦の生育期に除草剤を使用する場合、雑草の生育が進むと効果が劣るので注意しましょう。

(2) 麦踏みは 10日～2週間おきに行いましょう

- 麦踏みの回数は、年明けから茎立期直前(例年3月上中旬頃)までに3回程度が目安です。
- 間隔は、10日から2週間程度空けるようにしましょう。
- 土壌が水分を多く含んでいる時に行うと、土が締まり湿害による根痛みを起こし、生育不良に繋がります。必ず土壌が乾燥した状態で行いましょう。

麦踏みの効果

- ①分げつを進める
- ②根張りを良くし、耐寒性を高める
- ③霜柱などによる凍上害防止
- ④暖冬時、早すぎる茎立ちを抑える

(3) 排水対策を行いましょう

今後は降水量が多いという予報が出されています。時々排水口を点検し、必要に応じて溝さらいを行いましょう。まだ排水溝を設置していないほ場は早期に設置しましょう。

問い合わせ先

安足農業振興事務所 経営普及部 農畜産課 0283-23-1431
ホームページ <https://www.pref.tochigi.lg.jp/g58/index.html>